Voice ジュビリー 25 新潟

25年経っても
変わりない良き同級生

今年は１が３つ並んだ記念すべき本学創立111周年記念式典とともに，３年目となる「ジュビリー5025」に校友会より，ゴールデンジュビリーとして56回卒の大先輩方，シルバージュビリーとして81回卒の我々が招待され，新潟卒27名も参加させていただきました。

私は，ちょうどこの制度の始まった年から連続で創立記念式典に参加し，会場のいたるところで「おー，元気だったか？」などと式典が始まる前から歓喜に沸く光景を見てきました。しかし，いざ自分たちの番になると同じように「変わってないじゃん，元気だった？」などと，変わらぬ友人との久しぶりの再会に一気に学生時代に戻った感じでした。それもそのはず，卒業後２回クラス会を行っていますが，どちらも参加できなかったので，ジュビリー5025に感謝です。

北は山形，南は四国，九州・種子島から前日入りして今日に備えた同級生もいました。クラス会ではなかなか参加できないことも，創立記念式典特別参列制度の目的である，記念式典に参列し交流を深め，更なる母校の発展を祈念する愛校心があったからこそ実現できたことと思います。

富士見ホールにおいて午前10時30分より，創立111周年記念式典が開式し，厳粛な雰囲気の中，３人の神職による神祭が執り行われました。式典では20年永年勤続者の表彰もあり，同期の吉村 建 先生が表彰されました。30年永年勤続者表彰の遠藤敏哉教授の代表挨拶に感銘を受け，今後の大学人として身の引き締まる思いを感じました。

式典修了後，午後１時よりホテルグランドパレスにおいて，創立111周年記念祝賀会に大学のご厚意によりお招きいただき，ジュビリーの諸先輩方をはじめ，同級生，大学の教職員，学生会の後輩などと交流でき，たいへん有意義な時間を過ごすことができました。会の最中，新潟81回卒を代表して同級生では教授第一号の佐藤義英教授が「日本歯科大学を卒業して本当に良かった。今後も81回卒であることを誇りに，診療・教育・研究に努力していきたいと存じます」と挨拶すると，今までがやがやしていた会場が一斉に壇上に注目し，盛大な拍手が湧き起こりました。大学１年の法学で故山口五郎先生を横飛びさせたあの野太い声は今でも健在です。あっという間に祝賀会は終わり，その後は同ホテル23Ｆのクラウンラウンジで２次会を行いました。

25年経ってもみんな昔と変わりなく，話をしていてもなんだか学生時代に戻ったような気持ちでした。大学時代の懐かしい思い出話で盛り上がり，自分たちや参加できなかった同期の近況，大学の現状や最近の歯科情勢など，数時間でしたが25年の時が一気につながり，楽しいひとときを過ごすことができました。ただ，スマホ画面をみる距離が遠く，みんな老眼が進んでいて年はごまかせないようです。そして，それぞれがいつの間にか歯科医師として伝統ある日本歯科大学の看板を背負って地域に貢献している姿を見て頼もしく感じました。

結局最後まで次のクラス会の話をすることなく散会となりましたが，25年後のゴールデンジュビリーにも必ず参加したいと思います。このような素晴らしい特別参列制度を企画していただきました校友会と日本歯科大学に深く感謝いたします。

（海老原　隆・81回記）

祝賀会での集合写真

佐藤義英教授の挨拶

2次会での乾杯